

# 横浜市福祉サービス第三者評価

## 評価結果総括表（保育分野）

|        |                |                |
|--------|----------------|----------------|
| 事業所名   | 戸塚愛児園          |                |
| 報告書作成日 | 平成30年1月24日     | （結果に要した期間 7ヶ月） |
| 評価機関   | 株式会社 学研データサービス |                |

### 評価方法

|   |  |
|---|--|
| 自己評価<br>(実施期間:平成29年 6月 28日～平成29年 10月 13日)       | 園長、主任を中心に作成  |
| 評価調査員による評価<br>(実施日:平成29年 11月 21日、平成29年 11月 22日) | ①第1日目<br>ガイダンス、施設見学、保育観察、事業者（職員）ヒアリング（園長、主任保育士、保育士、事務員）、書類確認<br>②第2日目<br>事業者（職員）ヒアリング（園長、主任保育士、保育士、事務員、調理員）、保育観察 |
| 利用者家族アンケート<br>(実施期間:平成29年 9月 4日～平成29年 9月 18日)   | 送付方法・・・園を通して保護者へ配付<br>回収方法・・・評価機関宛に保護者より直接郵送   |
| 利用者本人調査<br>(実施日:平成29年 11月 21日、平成29年 11月 22日)    | 第1日目、第2日目の午前遊び、昼食、午睡の状況などを中心に、観察調査を実施しました。また、幼児とは会話の中で 適宜聞き取り調査を実施しました。  |

### 総評（評価結果についての講評）

施設の特徴、施設のよい点・改善すべき点などの総括

\*施設の理念を踏まえながら、施設全体としての特徴を総合的に示すとともに、特によいと思われる点、または、より質の高いサービスの提供のために、工夫すべき点・改善点などについての総括を以下にご報告いたします。

#### 《施設の概要》

戸塚愛児園は、JR「戸塚」駅から徒歩10分ほどの位置にある、昭和31年10月に開所した私立保育園です。近くには自然豊かな川や公園が多く散歩コースに恵まれています。子どもの人権や主体性を尊重することを念頭に、保育目標に「健康で情緒が安定し、のびのびとした子ども」「何事にも意欲的に取り組み、いきいきと遊べる子ども」「集団の中でしぶんを表現し、仲間や周りの人たちと協力できる子ども」「子どもらしい夢や喜びがいっぱいある子ども」を掲げています。定員は204名(0～5歳児)、開園時間は、平日は7時～20時、土曜日は7時～18時です。運動会、お誕生会、季節の行事、異年齢交流や地域の方とのふれあいを通して、豊かな人間性を育てる保育をしています。

#### 《特に優れている点・力を入れている点》

○さまざまな取り組みを通して、保育目標である「いきいき、のびのび、なかよし、ゆめいっぱい」な子どもたちが育てられています

七夕、ひな祭りなど暦に合わせた行事のほか、夏まつり、運動会、お店屋さんごっこ、お誕生会での発表など、子どもたちが主体性を持って楽しめる行事を実施しています。また、毎月、お話の専門家によるおはなし会を実施したり、移動動物村や人形劇を見る機会もあり、楽しみの一つです。丈夫な体作りの一環として、3～5歳児は毎朝園庭で体操を行い、週2回リミックを実施しています。年齢や発達段階に合わせて鉄棒、ジャンプ遊び、跳び箱を行っており、月2回体操の専門講師による体操教室を実施しています。年度初めに3～5歳児が縦割りの4つのグループを作り、月2回、異年齢活動を楽しんでいます。これらの取り組みを通して、保育目標である「いきいき、のびのび、なかよし、ゆめいっぱい」な子どもたちが育てられています。

○60年の歴史ある大規模な園で地域に見守られ、自然豊かな環境に恵まれ、子どもがのびのびと過ごせる保育環境を提供しています

園は地域に根ざし開所から60年を超え、駅に近い立地ながらすぐ近くには春の桜並木が美しい柏尾川をはじめ、梅林や牛舎のある上倉田の山など、豊かな自然環境に恵まれています。ほかにも自然に親しめる公園や遊具の多い公園、電車の見える陸橋など散歩の行き先はさまざまで、子どもたちの活動の幅が広がっています。園舎はホールやテラス、屋根裏部屋風のライブラリーなどを備えた鉄筋コンクリート造り3階建てで、園庭には遊具が設置され、子どもたちが走り回ったり三輪車やキックボードを楽しめる広さがあります。200人を超える子どもたちが通園する大規模な園ですが、幅広い年代の明るく元気な職員が揃い、子ども一人一人の気持ちや自主性を大切に保育が展開され、子どもたちがのびのびと過ごせる環境を提供しています。

○ 社会貢献活動を通じて地域につながる取り組みに力を入れています

横浜市の子育て支援事業計画書に従って行う活動で、「つぼみくらぶ」と名付けた地域支援活動を行っています。開催は概ね月に1回で、内容についてはホームページで公表しているほか、園の外掲示板を活用して地域の親子の参加を呼び掛けています。つぼみくらぶでは、お店屋さんごっこ、クリスマス会、人形劇、移動動物園村などを行い、参加した子どもは自分と同じ年齢のクラスに入って保育体験をしたり、給食を食べたりできます。また、一時保育、園庭開放、プール開放、おはなし会、離乳食の作り方講座などを実施し、参加した保護者に保育に関する情報提供を行い、子育て相談にも積極的に応じています。また、地域とつながる取り組みとして「社会福祉法人と地域につながる連絡会」に参加しています。

#### 《今後の取り組みに期待したい点》

● 職員の自己評価やアンケートを基に保育所としての自己評価を作成し、公表していくことが期待されます

職員は自己評価を行うとともに、その結果を職員会議やクラスの会議で報告し合い、今後取り組んでいく保育の内容、受けなければならない教育について検討し、クラスの現在の課題について共通認識を深めています。自己評価の項目は職員の業務内容を網羅していますが、取りまとめた結果を集計する際には事務作業が発生します。法人には複数の保育サービス施設があり、評価表の内容を検討しているとのことですが、今後は職員の自己評価や保護者アンケートをもとに保育所としての自己評価を作成し、行われている保育サービスを公表していくことが期待されます。

● 園が大切に考える理念や方針について、内容やタイトルの統一を図られ周知されることを期待します

園の掲げる運営方針、保育理念、保育方針、保育目標、基本方針、法人理念などについて、広く配布する園のパンフレット、入園時に保護者に配付する「重要事項説明書」、保育課程、園内掲示などで内容とタイトルの統一がないため伝わりにくくなっています。園が大切に考える理念や方針について、より理解が深まるよう整理し、内容やタイトルの統一を図り周知されることを期待します。

#### 《事業者が課題としている点》

今年度の園目標として「地域社会への貢献」を掲げ、子育て支援事業である「つぼみくらぶ」の担当職員を中心に、新たな試みを企画し、実践に向けて準備をしています。また、地域のニーズをとらえるために近隣住民の集会に園長が参加したり、戸塚区社会福祉協議会との距離を縮めていけるように努力しています。このほか、現在、人材育成のシステムについて法人組織改革の中で研修制度を構築しています。今後、職員の意識改革をし、職員一人ひとりが自分の役割を把握し、意欲的に働ける職場を目指していきたいと考えています。また、活動内容の工夫、環境設定の工夫など、保育士がもっと自由な発想で保育を展開していけるよう、勉強会や情報交換会などの開催を考えています。

## 評価領域Ⅰ 利用者(子ども本人)の尊重

### 評価分類Ⅰ-1 保育方針の共通理解と保育課程等の作成



保育理念は「児童福祉法に基づき子どもの人権と主体性を尊重するとともに、子どもの最善の利益を考慮しその福祉を積極的に進める」「地域社会との連携を図り、すべての子育て家庭の支援を行う」、保育方針は「明るくゆったりとした環境の中で個々を尊重し、見通しを持って保育を展開していく」「のびのび いきいき なかよし ゆめいっぱい」を目標に、豊かな人間性を持った子どもの育成のため、家庭や地域と協力し合う」を掲げ、利用者本人を尊重したものとなっています。園長は利用者も職員も、「のびのび、いきいき、仲良し、夢いっぱい」でいられる園でありたいと考えています。保育理念、保育方針、法人理念は園内各所に掲示され、職員会議などで確認し合い、全職員が子ども一人一人の気持ちを大切にする保育の実践に努めています。

保育課程は保育理念、保育方針、保育目標に基づき、子どもの最善の利益を第一義に作成されています。また、家庭や地域の状況を考慮して平日は7時～20時、土曜日は7時～18時まで保育を行うほか、一時保育や育児相談、園庭開放など地域子育て支援も積極的に行っています。保育課程は職員の意向を汲んだうえで、年度末に園長、主任、保育主任が中心となって見直しをしています。保育課程は入園時に保護者に配付して説明し、年度初めの保護者懇談会でも内容について説明しています。改定があれば随時保護者へ説明を行います。

保育課程をもとに年齢ごとの年間指導計画、月間指導計画、週案、年間食育計画、食育活動計画を作成しています。3～5歳児の異年齢交流年間指導計画、全年齢共通の年間保健計画も作成しています。日々の計画について子どもたちには年齢に応じてわかりやすく、年齢が上がるにつれ子どもたちには見通しを持って活動できるように伝えています。日ごろから子どもたちの意見や様子から気持ちを汲み取り、自主性を大切にしながら計画を柔軟に変更しています。4、5歳児が中心となる活動「お店やさんごっこ」では、お客さんとなる園児たちをどう楽しませるかも考えながら子どもたちがやりたいことについて意見を出し合い、製作の過程も楽しんで当日にのぞみました。

### 評価分類Ⅰ-2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施



入園にあたっては入園説明会に引き続き保育士が保護者と個別に面談を行います。その際、保護者が記入した「児童生活調査表」「入園時調査票」などをもとに、必要に応じて栄養士、看護師、園長、主任も参加して、家庭や子どもの細かな状況、子どもの生育歴、既往歴、アレルギーの有無などについて確認します。あわせて親子のかかわり方や子どもの様子、特性なども観察します。入園時に把握した子ども一人一人にかかわる情報は職員会議などで共有しています。また、記録類は事務室の子どもごとのファイルに保管し、職員間で共有し日々の保育に生かしています。

入園時には短縮保育(慣れ保育)をお願いしていて、子どもの様子や保護者の事情を考慮しながら進めています。目安は1週間ほどで、0歳児では最初の2日間は親子登園として家庭での様子の把握や聞き取りや観察に努めています。新入園の0、1歳児については気持ちが安定するよう担当保育士を決め、心の拠りどころとなるタオルなどの持ち込みも認めています。保護者との日々の情報交換は送迎時の会話のほか、0～2歳児では毎日連絡帳を使用し、食事、睡眠、排泄、子どもの様子について連携して保育を行っています。3～5歳児では毎日クラスごとにその日の活動内容をボードでお知らせしているほか連絡ノートを使用しています。新入園児受け入れの際は、在園児も含めて不安が軽減できるよう小グループ活動やフリー職員を配置するなどして柔軟に対応しています。

子どもの成長、発達に応じたクラスごとの年間指導計画、月間指導計画、週案は担任が中心となり、子どもたちの様子、状況に応じて作成しています。年間、月間、週ごとの各指導計画には「自己評価」や「評価・反省」の欄が設けられています。子どもの様子については複数いる担任間で伝え合うほか、必要に応じて乳児クラス会議や幼児クラス会議、全体会議や職員会議でも伝え合い、保育の反省、評価、見直しを行って、次の計画へつなげています。計画には、日ごろから連絡帳や送迎時の会話、行事後のアンケートなどで確認している保護者の意向も汲み取り、反映させるように努めています。

### 評価分類 I - 3 快適な施設環境の確保



保健衛生マニュアルの中に清掃の方法が記されていて、職員がこまめに清掃を行い園内外ともに清潔に保たれています。また園庭の遊具や用具なども安全チェックを行い管理されています。園舎は鉄筋コンクリート造り3階建てで、各保育室には窓があり採光は良好です。また、各保育室には温湿度計、エアコン、加湿器付き空気清浄機、扇風機などが設置され、換気もこまめに行うなど、保育士の管理のもと子どもたちにとって快適な環境となっています。大規模な園であるため年齢によっては1クラスの子どもの人数が多く活動によってはにぎやかです。保育がスムーズに行えるように声の大きさを表す「声のものさし」を使って、子どもにわかりやすく伝えるとともに、保育士間でも配慮しています。

0歳児の保育室には沐浴設備と温水シャワーを、1、2歳児の各保育室にも温水シャワーを設置しています。おむつかぶれやその予防、汗をかいたときや活動で体が汚れたときなどに使用して、子どもの清潔を保っています。またベランダにも温水シャワーが設置されていて、泥んこ遊びの後などに外で洗い流してから子どもが保育室に戻れるようにしています。夏場にプール遊びをするテラスにも温水シャワーが設置されていて水遊びの後に使用しています。沐浴設備や温水シャワーは毎日清掃し、また使用するたびに清掃、消毒を行うなど清潔に管理しています。

0歳児の保育室では柔らかい素材の滑り台などを組み合わせて、1、2歳児の保育室では可動式の低い間仕切りやマットを敷くなどして、子どもが落ち着ける小さなスペース作りの工夫をしています。食事と午睡は基本的に保育室内の別のスペースを使用していて、カーテンを閉めて雰囲気を変えて機能別の空間を確保しています。異年齢の子どもの交流については、朝、夕や土曜日の合同保育や毎朝の体操の時間のほか、3～5歳児では異年齢年間指導計画を作成し、年度初めに縦割り4グループを作って計画的に交流、活動を行っています。年上の友だちに憧れたり、年下の友だちの世話をすることなどを通して、異年齢の子ども同士のつながりやかかわりを深めています。

### 評価分類 I - 4 一人一人の子どもに個別に対応する努力



0～2歳児には子どもごとに「養護」「教育」と「子どもの評価と保育士の関わり・反省」の欄を設けた個別の指導計画を月単位で作成しています。3～5歳児で特別な課題がある子どもについては生活、教育の両面で「ねらい」「活動」「配慮」「家庭との連携」「評価・反省」の欄を設けた月単位の個人指導計画を作成しています。子どもたちの様子や状況は毎日のクラスミーティングや毎月の乳児、幼児クラス会議、全体会議などで情報共有しながら保育に生かしています。個別の目標、計画については保護者と連携しながら子どもの発達、状況に応じて柔軟に変更し見直しを行っています。

子どもが就学する小学校に子どもの0～4歳時の情報も添えた保育所児童保育要録を持参または送付しています。入園時に把握した子どもの家庭の状況や生育歴、既往歴などは「児童生活調査表」、入園時に把握した子どもの睡眠、排泄、アレルギーの有無、食事の状況などは「入園時調査票」、入園後の健康診断や身体測定、予防接種の記録などは「健康診断票」、入園後の基本生活や身体発達、認識発達について細かく項目ごとに確認する「発達記録表」や「個人面談記録」「ケース記録」など、子ども一人一人についての情報が記録されていて、子どもごとに整理しファイリングされています。記録類は事務室で保管し全職員が情報共有して保育にあたるほか、進級時の担任の申し送りにも使用しています。

## 評価分類 I - 5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み



特に配慮が必要な子どもについては個人指導計画を毎月作成しています。子どもの個別ケースについては毎日のクラスミーティング、毎月の乳児、幼児クラス会議や代表者が参加する全体会議、全職員が参加する職員会議などで情報を共有して記録を残しています。個別の子どものケース記録は子どもごとのファイルに保管され、会議録とともに職員がいつでも共有できるよう事務室で保管しています。職員が外部研修に参加した場合は研修報告書を作成して回覧し、内容に応じて報告の場を設けるなど、職員間での情報の共有化を図り、保育に生かせるよう努めています。

園内の床部分は段差がなく、階段の要所に点字ブロック、車いす対応のトイレ、エレベーター、階段に手すりを設置するなど、バリアフリー構造となっています。障がいのある子どもについては、子どもの特性を考慮して個人指導計画を毎月作成し、保護者と密接に連携しながら必要に応じて専任の職員を配置するなどの配慮をして保育にあたっています。また保護者の同意を得て、横浜市戸塚地域療育センターや戸塚区こども家庭支援課などと連携がとれる体制にあります。子どもの様子や障がい児保育については担任間では毎日、また乳児、幼児クラス会議、全体会議、職員会議でも情報を共有し話し合い、全職員で子どもの特性を理解して、子どもが無理をせずほかの子どもたちとかかわりながらスムーズに園生活を送れるような保育を心がけています。

児童虐待の早期発見と対応についてのマニュアルが各クラスに備えられています。虐待については職員会議などで話し合うなど対応方法の周知に努めています。また年に1人は職員が外部研修に参加し、得た情報を職員間で共有しています。虐待の予防や早期発見のために、登園時の親と子の様子や保育中の子どもの様子、出欠状況などで気になることがあれば、随時、園長や主任、保育主任に報告し、ケース記録を残し、職員間で話し合います。虐待の疑いが生じた場合、必要に応じて戸塚区こども家庭支援課や児童相談所と連携するとともに、支援や見守りの必要な家庭へは個別の配慮をし、相談にも応じるようにしています。

アレルギー疾患のある子どもについては必ず医師による「生活管理指導表」を提出してもらい、保護者と連携しながら適切に対応しています。食物アレルギーがある場合は月末に献立表をもとに除去についてのチェックを行い保護者と確認し合っ、基本的に除去食を提供しています。栄養士はほかの子どもとなるべく同じ見た目の食事を提供したいと考えていて、牛乳の代わりに豆乳を使うなどの代替食を提供することもあります。アレルギー疾患の対応方法やアレルギーのある子どもについての情報は、各種会議などで全職員へ周知します。除去食の提供については、朝と給食提供前に保育士と給食担当職員が内容を確認し合うほか、子どもごとのマーク付け、専用トレイ、食品包装用ラップと名札などの使用により誤食防止に努めています。

文化や生活習慣、言語の異なる家庭の子どもを受け入れにあたっては、面談で互いの理解が深まるようていねいに聞き取り、考え方の違いなどを尊重し、子どもが園生活をスムーズに送れるように配慮します。給食の献立で食べられないものがある場合は栄養士も交えて相談のうえ個別に対応します。外国籍の子どもを受け入れ時には、外国の歌、国旗の絵本やパズルなどを取り入れて子どもたちに話し、異文化にふれられるような工夫をします。また、言語の違いから意思の疎通が難しい場合は、連絡帳をローマ字で記入したり、絵などで表示したり、通訳のできる人を介したりして対応します。

## 評価分類 I - 6 苦情解決体制



保護者の要望、苦情については、受付担当者は主任、解決責任者は園長が務めています。外部の第三者委員の氏名、連絡先などとともに入園時に保護者へ配付する園のしおり(重要事項説明書)の中に苦情相談窓口として明記し、入園説明会で苦情解決体制について説明しています。事務室前に「苦情解決窓口の設置について」の文書を掲示して、外部の権利擁護機関も含め紹介し、玄関横には「意見箱」を設置しています。保護者に対して個人面談は0~2歳児では随時、3~5歳児以上では期間を決めて全員に行い、保護者懇談会は年3回実施しています。また年度末や運動会、夏まつりなどの行事後にアンケートをお願いするなど、日ごろから保護者の意見、要望を汲み取る努力をしています。子どもに対しても一人一人の気持ちに寄り添う保育を心がけています。

苦情相談対応についてのマニュアルが整備されています。保護者から要望や苦情があった場合、必要に応じて第三者委員や法人本部、外部の相談機関を交えて対応する仕組みができています。要望、苦情を受け付けた際は主任、保育主任を中心に早急に内容を共有して話し合い、園長も交えて職員会議で全職員へ対応方法や解決策などを周知して対応しています。また「苦情・要望受付書」には受付内容、申し出人の希望とともに処理経過、結果を記録しています。

## 評価領域Ⅱ サービスの実施内容

## 評価分類Ⅱ-1 保育内容【遊び】



0～3歳児の保育室では低い棚に、4、5歳児の保育室では棚の下のスペースに、子どもが取り出しやすいようにおもちゃが置かれています。0～2歳児には布のおもちゃを、3歳児クラスではごっこ遊びのおもちゃを、4歳児クラスでは小さなブロックを、5歳児クラスではトランプやすごろくを用意するなど、その年齢の子どもの興味や発達に合わせたものをそろえています。遊ぶときにはさまざまな遊びのコーナーを作っており、コーナーの設定や配置も年齢や発達に合わせて変えています。登園後、各クラスで集まるまでの間や、おやつ後、活動の間は、自由に遊べる時間となっており、子どもたちは自分の好きなコーナーを選んで楽しそうに遊んでいます。

子どもの自由な発想を受け止め集団活動に取り入れる取り組みとして、お店屋さんごっこを行う際に「何屋さんになりたいか」を子どもたちに聞き一緒にアイデアを考えながら作品を作ったり、鬼ごっこのルールを子どもたち自身が決めて遊ぶなどの例があります。また、年4回、お誕生会でダンスや劇や歌を披露していますが、子どもたちが好きな絵本から題材を選び劇の配役を自分たちで決めたり、子どもたちの好きな曲でダンスを披露しています。職員は順番を守ることでルールを伝えるほか、3～5歳児クラスでは、ドッジボールやしっぽとりゲームなどルールのある遊びを取り入れています。保育士は子どもの遊びが発展するような声かけをし、遊びの援助をしています。

夏には、ミニトマト、パプリカ、こだまスイカ、きゅうりなどの栽培をし、交代で水やりを行い、絵に描いたり、収穫した野菜を調理してもらって食べました。5歳児クラスではかめを飼っています。また、毎年、移動動物村を招き、動物とふれあうひとときとなっています。散歩では、行き交う人や公園で出会う人に職員が率先して挨拶をすることで、子どもたちも挨拶ができています。園外活動として自然の多い公園に行き自然に触れる機会を持つほか、近隣の図書館や消防署に行ったり、神社に新年のお参りに行っており、地域を知る機会となっています。1、2歳児は年1回親子遠足、3、4歳児は年2回、5歳児は年3回遠足に行っています。

3～5歳児クラスでは、自分のお道具箱があり、年齢に合わせてクレヨン、のりや自由画帳を自由に使うことができます。ぶどう、りんご、さつま芋など季節の野菜や果物の作品を作るなど、季節や行事に合わせてさまざまな造形活動を楽しんでいます。製作では、広告のチラシ、牛乳パックや空き箱なども自由に使用することができます。5歳児クラスのお泊まり会では、プラネタリウムを作りました。毎月今月の歌を決めて歌うほか、夏まつりではゲームコーナーで遊んだり、盆踊りを踊りました。毎月、お話の専門家によるおはなし会を実施し、年齢ごとに年齢に合った絵本の読み聞かせを楽しんでいます。年1回人形劇を見る機会もあり、子どもたちの楽しみの一つとなっています。

0～2歳児のけんかでは、かみついたり手が出ないようにそばについて、お互いの気持ちを代弁するようにしています。3～5歳児のけんかのときには、できるだけ子ども同士で解決するよう見守りながら、自分の気持ちを伝えることができるように導いています。土曜保育や延長保育の時間、夏と冬に設ける合同保育期間には異年齢で保育を行っています。夏の合同保育期間には、お祭りごっこやすいか割りなどを楽しんでいます。また、年度初めに、3～5歳児が縦割りの4つのグループを作り、月2回、異年齢活動を楽しんでいます。職員は、「保育の心得」を中心に会議などで子どもへの声のかけ方などについて話し合っており、優しい態度で接しています。

近隣には、遊具のある公園、自然が豊かな公園、芝生のある公園などさまざまな公園や電車の見える陸橋などがあり、天気のよい日にはできるだけ散歩に出かけるようにしています。戸外で遊ぶときにはたれつき帽子をかぶり、夏には園庭に日よけテントを設置しています。3～5歳児は毎朝園庭で体操を行い、週2回リズムを実施しています。丈夫な体作りの一環として、年齢や発達段階に合わせて鉄棒、ジャンプ遊び、跳び箱を行っており、月2回体操の専門講師による体操教室を実施しています。秋には運動会に向けてかけっこや競技の練習をしています。熱が出た後の登園時は室内で遊ぶなど個々の体調に配慮しています。



3～5歳児クラスでは、配膳時に子どもに食べたい量を聞いて調整し、食べきることを大切にしています。子どもが食事に興味をもつ取り組みとして、各年齢ごとに年間食育計画を立て食育を行っています。トマト、ブロッコリーなどの栽培を行い収穫して食べるほか、0～2歳児は絵本を見たり食材に触れることからはじめ、3～5歳児クラスでは、ケーキ作り、お団子作り、サンドイッチ作りや芋煮会を楽しんでいます。栄養に関心を持つ取り組みとして、2歳児から食事の前に「三大栄養素の歌」を歌い、栄養素やメニューの説明をしています。また、食事当番を決め配膳のお手伝いをしています。授乳は抱っこして行い、離乳食は子どものペースに合わせて提供しています。

子どもが季節を感じられるよう、春にはキャベツやふき、夏にはトマトやきゅうり、秋には芋やきのこを提供するなど季節の旬の食材を使用しています。行事食も工夫し、七夕にはそうめん、お月見にはお団子、ハロウィンにはカボチャのケーキを出しました。お誕生会の日にはケーキやパフェを作り、年数回、外国の料理も提供しています。子どもが楽しんで食事ができる工夫として、行事の日にはBGMを流したり、テラスで食事をとることもあります。食器は年齢に合わせて大きさや使いやすいものを選び、丈夫で安全なメラミン食器を使用し5年ごとに交換しています。根菜類は国産のものを使用するように心がけ、だしは煮干しやかťお節から取っています。

園の栄養士が献立を立てています。和食中心の食事を心がけています。毎日残食調査を行い日誌に記録するとともに、栄養士や調理担当者が、月数回各保育室を訪れ子どもに声を掛け、子どもの喫食状況を確認しています。お泊まり保育のときには一緒に食事をしています。毎月、給食会議を実施しており、保育士とともに各クラスの子どもの喫食状況、献立や調理の工夫について話し合っています。残食の多かった献立は調理方法や大きさ、硬さを変えるなどの工夫をしています。看護師が成長曲線を記載しており、それを参考に食事量を加減するとともに、保護者を対象に栄養士と協力して栄養指導をしています。

月末に次月の献立表を保護者に配付しています。献立表には、食材を三大栄養別に分けて掲載し、栄養について伝えています。また、食の大切さを伝えたり食に関するアドバイスを掲載するとともに、子どもに人気のある献立を載せています。保護者向けに、どのようなものをどれくらい食べているかを目で見ることができるよう、毎日玄関に日々の給食のサンプルを展示しています。試食会も実施しており、離乳食の試食は慣れ保育の最後の週に実施し、他クラスでは遠足の日を利用して行っています。試食会当日は子どもに人気のある献立を中心にレシピを用意して提供し、栄養士が各テーブルを回って、栄養や味付けの工夫などについて説明しています。保育参観時にも試食を行っています。

午睡の前には、落ち着いて眠りにつけるよう絵本の読み聞かせや素話をしています。午睡時は、カーテンを閉め、体を優しくとんとんするなど、子どもが安心して眠りにつけるよう配慮しています。眠れない子どもや眠くない子どもには、体を休めることを話し、それでも眠れない場合には別室で静かに過ごしてもらうようにしています。乳幼児突然死症候群(SIDS)の防止のために、0歳児は5分おき、1歳児は10分おきに呼吸や体勢のチェックを行い、姿勢を変えるなど対応しています。5歳児は就学に向けて、12月ごろより徐々に午睡の日を少なくし、職員が交代でゲームや絵本の読み聞かせをするなど思い出に残る時間を過ごしています。

排泄は活動の前後、食事の後、午睡の後など活動の節目に誘っています。子どものトイレに行きたくない気持ちを尊重して無理に誘うことはせず、行きたいときに行くことができるように配慮しています。0～2歳児クラスでは、連絡帳に排便の時間を記入し家庭と連絡を取り合っています。トイレトレーニングは、排泄の間隔があてきた子どもを対象に生活表に排尿時間を記入し、保護者と連絡を取りながら進めています。おもらしをしたときには、ほかの子どもにわからないよう着替えをしていますが、おもらしをしたことを悪いことと感じさせないように配慮しています。

## 評価分類Ⅱ－2 健康管理・衛生管理・安全管理【健康管理】



健康に関するマニュアルがあり、入職時に説明するとともに、各保育室に保管し、いつでも振り返ることができるようにしています。マニュアルには、保健年間計画、朝の受け入れ時の観察、健康診断などについて掲載しています。子どもの体調については、申し送り簿に記載し、看護師やほかの職員に伝え、保育中に気になる症状があるときには降園後の対応について保護者に伝えていきます。既往歴や予防接種については、入園時に児童生活調査票に記載し把握していますが、その後は、年度末に保護者に追記してもらっています。既往歴などの情報はミーティングなどを通して職員に周知しています。食後の歯磨きは歯が生えてきたときより行っており、仕上げ磨きは5歳児まで行っています。

全クラスとも、健康診断は年2回、歯科健診は年1回、身体測定は毎月実施しています。そのほか、4歳児は5月に視聴覚検査を行い、6月に3～5歳児を対象に尿検査を実施しています。健康診断や身体測定の結果は、児童生活調査票に記載し、入園から卒園までの健康に関する記録が一目でわかるようにしています。保護者には、健康診断の結果は連絡帳に記載し、歯科健診の結果は結果票でお知らせし、身体測定の記録は0～2歳児は連絡帳に記載し、3～5歳児は出席簿に記載して伝えています。保護者向けに歯科講習会を実施しており、質問をあらかじめ聞いて回答しています。嘱託医には感染症や子どもの発達などについて相談するなど連携しています。

感染症対応に関するマニュアルがあり、入職時に説明するとともに、感染症の流行時に職員会議などで全職員に周知しています。また、各保育室に保管し、いつでも振り返ることができるようにしています。マニュアルには、感染症予防対策、登園停止基準などについて記載しています。登園停止基準は「入園のしおり」に記載し、保護者にも伝えていきます。保育中に感染症の発症が疑われる場合には、保護者に連絡し、お迎えを待ちます。園内で感染症が発症した場合にはお知らせを玄関に掲示し、メール配信もしています。感染症の罹患後に登園する場合には、医師の登園許可証を提出することになっています。感染症に関する情報はミーティングで全職員に伝えていきます。

## 評価分類Ⅱ－2 健康管理・衛生管理・安全管理【衛生管理】



衛生管理に関するマニュアルが用意され、入職時に説明するとともに、各保育室に保管し、いつでも振り返ることができるようにしています。マニュアルには、清掃や消毒について、嘔吐時の対応などについて記載されています。マニュアルは感染症の流行時期など必要に応じて、読み合わせを行い、見直しをしています。マニュアルに基づいて、共有部分は清掃担当職員が、保育室は保育士が時間を決めて清掃をしています。また、汚れたらそのつど清掃を行い、園内の清潔を保っています。トイレには、清掃の手順とチェック表、嘔吐処理の手順を掲載しています。嘔吐時の対応や手洗いについて、必要に応じて看護師が研修を行っています。

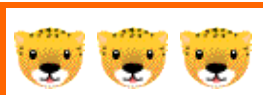




安全管理に関するマニュアルが用意されており、入職時に説明するとともに職員会議などで読み合わせを行い、その後は各保育室に保管して、いつでも振り返ることができるようにしています。マニュアルには、事故防止、事故対応、災害時の対応について掲載しています。保育室の棚には転倒防止策を講じ、棚の上のCDデッキなどには滑り止めのマットを敷いています。毎月、地震、火災を想定して防災委員が企画して避難訓練を実施しており、年1回消防署と合同訓練を行っています。毎年消防署の救急救命講習を実施しています。事故の際、保護者へ確実に連絡できるよう、複数の連絡先を把握し、災害時の連絡のため、メール配信システムを導入しています。

近隣の医療機関、関係機関の一覧表を事故対応マニュアル内に掲載し、すぐに対応できるようにしています。また、事務室には、警察への連絡方法や救急車の呼び方マニュアルを掲示しています。保育中に子どもがけがをしたときには、小さなけがでも保護者に報告しています。受診が必要なけがの場合には事故報告書を記載し、対応にあたった職員が中心となり対応策について検討しています。通院に至らないけがは日誌に記載し、ミーティングなどで周知しています。クラスごとにヒヤリハットを記載する表が用意されており、年度末に集計を行い、どのような事故がいつ、どこで発生しやすいかを確認しています。

不審者対応マニュアルを用意し、入職時に説明するとともに、訓練前に職員会議などで全職員に周知しています。また、各保育室に保管し、いつでも振り返ることができるようにしています。門扉はオートロックシステムとなっており、職員と保護者はICカードで開錠し、来訪者は顔を確認してから開錠しています。年1回不審者対応訓練を実施しています。警備保障会社と提携し、直接通報できる体制を取っています。園内数箇所防犯カメラを設置しています。不審者に関する情報は、戸塚区からメールで送信されるほか、近隣の方々からも得ています。



園では子どもたちへのかかわり方などを記した「職員の心得」を年度初めの職員会議で確認し合うとともに、日ごろから各種会議などで、ゆとりを持った保育を心がけ、子ども一人一人の気持ちに寄り添い、個々の特性に合わせた穏やかな言葉かけをする、など子どもとのかかわり方について確認し合って保育にあたっています。また子どもの年齢に応じてわかりやすい言葉で話し、子どもの気持ちを尊重するよう心がけています。子どもがおもらしをした場合は、ほかの子どもに知られないよう配慮しながら優しく対応し、子ども同士のトラブルの際は個々の特性を考慮しながら双方の話を聞き状況を把握したうえで、必要に応じて子どもの気持ちを代弁しながら子どもたちが納得できるよう対応しています。

子どもが1人になりたいときに保育士や友だちの視線を意識せず過ごせる場所として、事務室近くのライブラリー、フリースペース、3～5歳児の保育室内では壁面収納下部のへこんだスペースなどを活用することができます。職員は必要に応じて声をかけながら子どもの様子を見守ります。子どもと1対1で話し合う必要が生じたときには、保育士は子どもの自尊心やプライバシーに配慮して保育室の隅や廊下、ライブラリー、フリースペースなど、ほかの子ども視線を気にせず過ごせる場所で、子どもが理解し納得できるように穏やかにかかわるよう心がけています。

個人情報の取り扱いや守秘義務については、その内容について記した「職員の心得」を全職員に配付し周知し、年度初めの職員会議でも内容を確認し合っています。入職時には全職員から誓約書も得ています。ボランティアや実習生の受け入れにあたっては個人情報の取り扱いと守秘義務について説明して誓約書の提出をお願いしています。保護者に対しては入園説明会で説明するとともに文書でお知らせして周知を図り、「個人情報の使用等に係る同意書」の提出をお願いしています。個人情報に関する記録は、事務室の鍵のかかる書棚で保管して、パソコン内のデータについてはパスワードを設定し管理しています。

保育士は、子どもの並び順やグループ分け、行事の役割、ごっこ遊びの配役、身につけるものの色などを性差で区別することはありません。製作活動においても子どもたちが好みの色を自由に選ぶなど子どもの自主性を尊重しています。自由遊びの時間にはブロックやままごとなど性差に関係なく思い思いの遊びに集中しています。また子どもや保護者に対して、父親、母親の役割を固定的にとらえた話はしていません。園では父の日、母の日と限定せず「家族の日」と表現して、園行事として特に設定せず家族について話したり考えたり、時には製作をするなどクラスごとの活動としています。園内で無意識に性差による固定観念で子どもにかかわる様子を見かけたら、職員間で話し合うなどしています。



保育理念や保育の基本方針は、パンフレット、入園時に配付し説明する重要事項説明書に明記しているほか、玄関と各保育室に掲示し、いつでも見ることができるようになっています。年度初めの保護者懇談会では、クラスごとの保育目標について話すとともに、理念や保育方針についても説明を行い、理解してもらえよう心がけています。毎月クラス便りに各クラスの今月の保育目標を掲載しています。

子どもの送迎時には、保護者に子どもの様子を口頭で伝えるよう心がけています。0～2歳児は毎日連絡帳を通して、園や家庭での様子、睡眠、排泄、食事や健康状態について保護者と情報交換しています。3～5歳児は必要に応じて連絡帳を記載しており、毎日の活動の様子はホワイトボードに記載して伝えています。個別面談は、3～5歳児は10月～翌年1月の間に行い、0～2歳児は希望に応じて実施しています。あらかじめ保護者に伝えたいことをクラスの担任で話し合ったうえで面談を実施しています。年度初めと年度半ばと年度末の年3回保護者懇談会を実施し、クラス全体の様子を伝えています。

保護者にはいつでも相談に応じることができることを伝えています。相談を受けるときには、ほかの人に聞かれないよう、事務所やライブラリーなどで行い、プライバシーに配慮しています。担任保育士が相談を受けた場合でも園長、主任に報告しており、アドバイスを受ける体制が取られています。必要に応じて園長、主任、看護師や栄養士が相談に応じることもあります。相談の内容は児童票の生活記録に記載され、必要に応じてかわる職員が中心となって会議などで話し合いを行い、継続してフォローを行っています。

園だよりを毎月発行しています。園だよりには、保護者に伝えたいコメントのほか、今月の行事の予定、行事の報告やお知らせを載せています。毎月クラスだよりも発行しており、各クラスの子どもの様子や毎月のクラス保育目標などを掲載しています。3～5歳児クラスでは、毎日子どもの活動の様子をホワイトボードに記載して保護者に伝えています。年3回保護者懇談会を実施し、保育目標や活動内容について伝えています。職員は日常の様子や行事の様子を写真に撮って各保育室に掲示し、お誕生会、夏まつりや運動会など主な行事のときには、写真の業者が撮影した子どもの写真を業者ホームページを通して購入することができます。

年度初めに年間行事予定表を配付し、保護者が予定を調整し、園の行事に参加しやすいように配慮しています。また、毎月の園だよりにも予定を掲載しています。運動会や遠足などでは別途案内を配付しています。保育参観は全園児を対象にほぼ年間を通して1日各クラス1組、1日5組まで受け付けており、保護者には朝9時から給食終了後まで子どもたちと一緒に過ごし、日常の子どもの活動の様子を見てもらっています。給食の試食も行っています。また、お誕生会には保護者も参加して、一緒にお祝いすることもできます。保護者懇談会に出席できなかった保護者には、後日時間を設けて説明しています。

保護者会組織があります。各クラスから1名ずつ役員を選出して活動しています。年度初めに総会を行い、活動の報告や予定について承認を得、その後は、役員を中心に活動を進めています。活動としては、保護者会主催の夏まつりと芋掘り会をいずれも日曜日に実施しています。芋掘り会は参加者を募って行き、夏まつりはゲームコーナーや食べ物コーナーを設けて楽しんでいます。保育士もいくつかのブースを担当しています。また、毎年、保護者から原稿を募り、文集を発行しています。子どもへのクリスマスのプレゼントも用意しています。役員会を開くときには、会場を提供し、園長と主任も必要に応じて出席しています。

## 評価領域Ⅲ 地域支援機能

### 評価分類Ⅲ－1 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供



園庭やプールを開放し、地域の親子に参加してもらっています。また「つぼみくらぶ」と名付けた地域支援活動でさまざまな取り組みを行って、参加者に意見や感想、要望を聞くようにしています。つぼみくらぶでは実際にクラスに入って、親子ともに保育を体験することができます。活動の際には園長や主任が育児相談も受け付けています。園長は自治会に参加し、地域のニーズを把握しています。幼保小の連携会議にはクラス担任が中心となって参加したり、戸塚地区の「社会福祉法人と地域につながる連絡会」には園長が出席したりしています。会議に出席した職員は記録を作成し回覧して、主任会議で話し合っています。

一時保育や交流保育から得られた情報は、職員会議や年度末に年間指導計画を作成する際に職員同士で共有し、今後の活動について話し合います。スイカ割り、クリスマス会、お店屋さんごっこへの招待など多くの子育て支援サービスを行っていますが、計画された行事については、実施前に主任や園長が改めて内容を検討し、地域のニーズと合致しているかどうかを確認しています。一時保育の利用者は2～6人で、毎日利用があります。希望に応じて保育室や職員の数を勘案し、可能な限り受け入れていきます。交流保育にも力を入れており、行事と重ならないときは参加しています。育児講座、離乳食の作り方講座など、子育てや保育に関する講習や研修会も行っています。

### 評価分類Ⅲ－2 保育所の専門性を活かした相談機能



一時保育、園庭開放、おはなし会を行った際に、参加した保護者に保育に関する情報提供や育児相談を実施しています。育児相談は活動中でも受け付け、また、面談の機会を設けて育児に関する情報や知識、技術などについて話し合うなど、相談者の要望に随時応じるようにしています。園庭開放やつぼみくらぶなど、地域の親子が参加する機会が週に1度程度あり、その際に職員が保護者と会話を交わしたり、育児相談に応じたりしているため、地域の声が入ってきやすい体制となっています。子育て支援事業のポスターは、園掲示板や戸塚区役所、戸塚区の社会福祉協議会に掲示して情報提供するほか、ホームページでは、つぼみくらぶの活動日や内容の詳細も閲覧できるなど情報提供に努めています。

「医療機関一覧表」「公共機関一覧表」「小学校一覧表」があり、必要な関係機関をリスト化しています。地域の自治会やエリアネットワーク交流会と連携して、対応する必要がある場合は主任、園長が中心となって連絡します。リストはファイルにまとめられ、全職員に情報共有されています。関係機関との連携の担当者は、医療機関については看護師、小学校についてはクラス担任、公共機関は園長と主任となっています。療育機関との連携は保育主任からの相談を受けて園長が行っています。担当を決めることで迅速な対応が取れるようにしています。また、幼保小の交流会、研修会に参加して情報の活用と積極的な連携を図っています。

## 評価領域Ⅳ 開かれた運営

### 評価分類Ⅳ－1 保育所の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ



「つぼみくらぶ」の活動で近隣住民に参加を呼び掛けたり、お店屋さんごっこなどのイベントに招待したりしています。自治会とは「社会福祉法人と地域につながる連絡会」で交流するほか、近隣小学校の1年生には授業中にクラス単位で園を訪問してもらい、それに応じて5歳児が小学校を入学する前に小学校を訪問して給食を楽しむなど連携を図っています。地域との友好的な関係を築くための配慮として、園周辺の道路の草むしりをしたり、散歩のときには積極的に挨拶をしたりしています。地域住民が主催するモダンダンスの集まりに保育室を開放しています。戸塚区の社会福祉協議会の要望に応じて、備品の貸し出しも行っています。

戸塚区役所の屋上や市立図書館、男女共同参画センターなどは園から近くにあるため、園外保育のときに利用しています。手作りのお散歩マップがあり、上倉田町にある公園や戸塚八坂神社など、園の近隣には遊び場のできる場所が多数あります。陸橋の上から電車に向けて手を振ったり、川沿いの芝生の庭で遊んだりすることもあります。高齢者がゲートボールをしている公園に散歩に出かけ、挨拶や会話を楽しみ、お泊まり保育の際には、商店街で買い物をしながらお店の人たちと交流しています。このほか、消防署の出初式、桜まつりなどの地域の行事に参加し、戸塚区と歯科医師会による「いい歯の日」のイベントでは5歳児が歯磨き指導を受けています。

### 評価分類Ⅳ－2 サービス内容等に関する情報提供



保育所のパンフレット、法人のホームページに園で行っている保育サービスの情報を明示しています。また、園の外掲示板では地域子育て支援事業の資料やポスターを掲示するとともに、つぼみくらぶのチラシを戸塚区役所、戸塚区の社会福祉協議会、地域ケアプラザに置いて地域や関係機関に情報提供しています。ホームページの更新は園と法人の両者で行っていますが、園の保育活動をはじめ給食、行事などについては、月に1回以上は更新するようにしています。過去にタウン誌や新聞社が園の取材に来た際には、園長や主任が対応してきました。利用料や付加サービスの内容など、保護者が負担する費用についての問い合わせには、そのつど答えるようにしています。

見学の申し込み受付表があり、見学申し込みを常時受け付けています。希望者の問い合わせは電話が一番多く、見学希望日が近い場合でも可能な限り対応しています。保育の基本方針、利用条件、必要な費用、保護者会の有無、保育サービスの内容等については、担当者がパンフレットを使って説明し、担当者が不在の場合は受付窓口が説明しています。1回に受け入れる見学者は10人以下としていますが、見学希望者が増える秋以降は、土曜日の見学会を実施し、できるだけ多くの見学者を受け入れるようにしています。

### 評価分類Ⅳ－3 実習・ボランティアの受け入れ



「中高生のためのボランティアガイド」が整備されています。ガイドには園の概要、保育園についての説明、保育理念と基本方針、健康管理について記載されています。中高生が対象で、受け入れ人数は年間20名ほどです。オリエンテーションを行う際に業務内容や利用者の人権の尊重、個人情報について説明し誓約書を交わしています。園では申し込みを受ける際に、ボランティアに希望する活動を書いてもらい、育成担当者は申込用紙の内容に従ってボランティアの受け入れ準備をします。ボランティアは活動後に参加記録を作成します。ボランティアの受け入れにあたり、園だよりやホワイトボードに記載して保護者に知らせ理解を得ています。今後はボランティアの感想や意見を聞く機会を設けるとさらによいでしょう。

10か所以上の教育施設から実習生を受け入れています。受け入れ期間は最短3日間から最長3週間までとし、例年15～20人の学生を受け入れています。受け入れにあたり主任が担当となり、オリエンテーションを実施しています。実習生の希望に合わせ、クラス担任と主任が打ち合わせをして、学校からのプログラムも加味して実習を行い、日々の実習内容を踏まえたアドバイスや提案で実習生をサポートしています。ボランティアと同じように、実習生の活動内容はクラスだよりやホワイトボードの記載を行って保護者にも周知しています。実習の後は反省会を開いて、実習生本人と話し合います。実習生を受け入れて気づいたことは職員会議で議題にしています。

## 評価領域 V 人材育成・援助技術の向上

### 評価分類 V-1 職員の人材育成



業務を遂行するうえで必要な人材は法人本部で募集を出しますが、近年は人材不足が慢性化しているため、派遣会社やハローワークに園から依頼することもあります。法人のホームページでは、常時人材募集をしています。また、近隣に作成したチラシを配布することもあります。法人の作成した人材育成計画に従って、園長、主任、保育主任は研修を受講しています。職員は、年1回「自己意向申告書」に記入したものを法人に提出します。この申告書をもとに園長が法人の会長と面談を行い、職員が希望する研修や資質向上に向けた目標設定について話し合っています。

研修計画は、園長と主任が職員の資質や必要な教育、本人の希望をもとに作成し、法人の承認を得ています。研修計画を立てる際には、前年度の研修の成果を考慮し、担当クラスの保育内容に合った内容になるように、主任が配慮しています。新任の職員は法人が実施する新任研修で法人の理念や勤務規定研修に参加し、研修報告を作成します。報告は園内の職員で回覧したのち、ファイリングします。救急救命法、手洗い研修など子どもの健康管理についての内部研修を園の看護師が実施し、常勤職員、非常勤職員とも受講しています。法人内での施設間交流に希望者が参加することができます。研修の内容は園長が評価し、次年度の研修計画を立てる際に役立てています。

業務マニュアルは各クラスに配布され、常勤職員、非常勤職員ともに必要に応じて閲覧することができます。OJTや内部研修を受けるにあたり、非常勤職員の勤務時間は午前中は最長で5時間、午後は4時間となっており、受講できる時間帯を調整して、研修を受けられるようにしています。業務にあたり非常勤職員の経験年数、クラスのバランス、家庭の事情等を考慮したうえで、常勤職員との組み合わせに配慮するようにしています。非常勤職員の指導担当者はクラス担任と主任です。主任はクラス担任と相談したうえで非常勤職員のスキルアップにつながる研修が受講できるように、非常勤職員とコミュニケーションをとっています。

### 評価分類 V-2 職員の技術の向上



横浜市の書式を使って職員の自己評価を行っています。年度末には自己評価での振り返りをもとに園長と職員が面接して、次年度職員が取り組む保育の課題について話し合っています。個人や集団の保育の質を向上させるために、系列園での職員同士の交流研修を行ったり、外部から講師を招いて、スポーツクラブの体操指導や、ピアノのレッスン指導を受けたり、おはなし会の絵本の読み聞かせ指導などの勉強会を開いたりしています。歯科健診を担当している歯科医に訪問してもらって職員が歯磨き指導を受け、子どもたちの健康管理に生かしています。プロジェクトや委員会と呼ぶ各部門ごとの活動を通して、保育の質の向上を目指しています。

月間指導計画、保育日誌、食育計画、異年齢交流年間計画の書式の中に「自己評価」の欄を設け、保育内容や保育技術について職員が振り返りを記入しています。月間指導計画、食育計画についてはクラス担任が、保育日誌についてはその日の担当が、異年齢交流年間計画については職員会議で話し合いを行って作成します。記入内容は、計画で意図したねらいに対して妥当であったかどうかを主任、園長が検討し、評価結果をクラス担任と話し合っています。振り返りの内容は記述式で、職員は子どもの育ちや意欲、取り組んだ結果や、子どもの育ちと今後の対応を記載して、保育の実践結果をその後の計画作成に生かしています。

職員は自己評価を行うとともに、その結果を職員会議やクラスの会議で報告し合い、今後取り組んでいく保育の内容、受けなければならない教育について検討し、クラスの現在の課題について共通認識を深めています。内容は行う行事や地域支援との連携、保育の質をより向上させるための施策などですが、園長と主任を中心に園の理念、保育の方針と沿っているかどうかを確認しながら課題と改善について話し合っています。必要とする研修は受け入れ態勢から日々の保育、障がいへの理解と多岐にわたるため、自己評価の結果を参考にして受講する職員を決めています。職員の自己評価を基に行った保育所としての自己評価の公表は今後の課題としています。

## 評価分類Ⅴ－3 職員のモチベーションの維持



「保育所スキルチェック表」があり、職員一人一人の経験や能力や習熟度についてのレベルが点数化されています。利用者の立場を考慮したサービスを適切に提供するために、園長、主任は園内における職員の役割、仕事の分担などを決める際には、職員の持つスキルや適性を勘案したうえで配属を行っています。また、職員の能力に応じて可能なかぎり権限を委譲するとともに、責任を明確化しています。クラスにおける個別処遇の判断はクラス担任が行いますが、主任を通して必ず園長に情報が伝達されるようになっています。年度末に行われる園長との個別面接では、職員の提案や意見、要望を組織に伝えるシステムを取っています。



## 評価領域VI 経営管理

### 評価分類VI-1 経営における社会的責任



職員の守るべき組織の理念、倫理規範、法令や各種ルールなどは「職員の心得」「就業規則」に明文化されています。法人の経営や運営状況はインターネット上で公開しています。法人機関誌「クォーター」では、法人の各部署の運営内容を紹介し、当年度に行った設備投資等の財務情報も掲載しています。横浜市こども青年局から得られる適正運営に関する不適切事項の通達をもとに、職員会議で話し合いを行い、情報の周知に努めています。また、他園で起こった不正、事故情報等を職員に周知し、予防措置の検討を行っています。

園では職員一人一人が環境に優しい保育をするための取り組みとして、廃材を使用して子どもたちの使用するおもちゃを作ったり、保育に支障をきたさない程度に照明器具の設置本数を控えたりしています。屋上やテラスには人工芝を敷いて断熱性を高めることによって、節電に努めています。畑作業を子どもたちとともにを行い、収穫した野菜を食育活動に使い、給食では、例えばだしを取った後の昆布は細かく切って和え物として活用しています。ごみの減量化のためにコピー用紙は裏紙の使用を心がけるなどしています。環境配慮についてはマニュアルにも記載して、保育活動における省エネルギーを呼びかけています。

### 評価分類VI-2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等

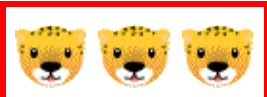


理念・基本方針は明文化され、園舎内に掲示しています。法人が発行する機関誌には毎回、理念を掲載して職員に配付しています。園に新入職員が配属された場合は研修を行い、園の理念と保育方針は、保育所保育指針に準拠したものであり、子どもの最善の利益を考慮した内容になっていることを必ず伝えていきます。毎月の職員会議開催時には園長と主任が話をした後、職員全員で理念と基本方針を確認しています。年度末に実施している職員と園長との面談では職員一人一人と理念や基本方針に沿った保育サービスを提供できたか、外部環境の変化に理念や基本方針が対応しているか、振り返りを行うことによって検証しています。

重要な意思決定が発生するのは法人組織からの指示に従う場合と、施設内で決定した場合がありますが、周知が必要な事項については職員会議などで職員に周知し、全職員と意見交換しています。意思決定の内容が、サービスの提供方針や拡大、縮小、インフラ整備など利用者に直接かかわることについては、文書で報告するとともに、迅速に保護者や関係者との話し合いの場を設け、経緯や決定内容を説明します。情報共有ツールとしてはメールや掲示板なども使用します。園の運営に影響を及ぼすような決定事項は、保育部門、事務部門、食事提供部門などがプロジェクト単位で動き、話し合いを行い検討し合って取り組んでいます。

主任は各クラスの状況を把握するためにクラスを巡回して、必要に応じてクラス担任に助言や指導を行っています。乳児・幼児会議にも出席し、意見交換にも加わります。会議に出席できない場合は会議録などを確認し、また毎日の保育日誌も確認してクラスの運営状況を把握しています。保育主任、クラス担任は、クラスの職員の能力や経験に合わせて無理のないように業務を割り振り、職員が心身ともに健康な状態で業務にあたれるようにしています。看護師と各クラスの職員で構成されている衛生委員会では、疲労度チェック用紙に記入してもらって、職員の自覚を促すとともに体調面に配慮し、産業医と園内を巡回して職員の疲労度や体調をチェックしています。

### 評価分類VI-3 効率的な運営



事業運営に影響のある情報の収集と分析は法人本部で行っています。事業年報では法人の行っている福祉サービスの全体像を確認することができます。法人機関誌「クォーター」には、それぞれの施設で行っているサービスや人事情報が掲載されています。法人本部で収集した情報は課題を抽出し、検討されたうえで施設長会議で周知されますが、迅速な情報共有が必要な場合には、電話やFAXで通知されることもあります。園長は内容を検討し、重点改善課題であると判断した場合は、職員会議で周知しています。現在、取り組んでいる法人組織改革や新事業の立ち上げ等の情報も積極的に職員会議等で開示しています。

「時代に応じたビジョナリー経営」「法人経営の意思決定機能の強化」「経営基盤の強化」「地域における生きづらさへの対応」「地域包括ケアへの対応」を中長期計画の5つの柱としています。組織改革の一環として、外部から講師を招き、組織について学んだり、次世代の人材育成方法について検討しています。今後子育て支援のシステムがどのように変わっていくかを見極め、外部研修や組織改革には保育主任、主任、施設長も参画し、今後の保育サービスがどのように変化していくかを話し合っています。部署別のキャリアパスも作成中です。目標とする「のびのび いきいき なかよし 夢いっぱい」に向けた保育をしていくために、新しい仕組みづくりを検討しています。

## 利用者本人調査

## 結果の特徴

## 調査方法

第1日目、第2日目の午前遊び、昼食、午睡の状況などを中心に、観察調査を実施しました。また、幼児とは会話の中で 適宜聞き取り調査を実施しました。

## 【0歳児】

マットの上で保育士が絵本の読み聞かせを始めました。その間に別の保育士が順番にオムツ交換をしていきます。2、3人の子どもが座ってお話を聞いています。その周りで、子どもたちはそれぞれに指をくわえて座ったり、ごろんと横になったり、違う絵本を見たり、ほかの保育士のひざに座ったりして、のんびりとした自由な時間が流れています。隣でままごと遊びが始まりました。一人の子どもがハイハイしてやってきて、仲間に加わりました。保育士が子どもたちと一緒におもちゃの棚から、野菜、ケーキ、ハンバーグやお皿などのままごと用おもちゃを取り出しました。お皿にいちご、みかんなどを載せていきます。ケーキを手に持っている子どもに保育士が「載せる？」と聞くと、イヤイヤをしました。しばらくすると、空いているお皿に自分からケーキを載せて嬉しそうにしました。

食事の時間です。手を洗って椅子に座ります。2、3人でテーブルを囲んでひじ掛け付きの椅子やテーブル付きの椅子に座ります。月齢や個々の成長に合わせて座る席を決めています。エプロンをつけて、「お手でパチン、みんなで一緒にいただきます」と保育士が言うと、手を合わせていただきますをして食事が始まりました。スプーンでご飯をすくって食べる子ども、保育士にスプーンによそってもらって食べる子ども、手づかみで食べる子どもなど、それぞれに食べ方があり、保育士は必要に応じて介助しています。コップを自分で持って飲める子どもにも保育士がついて介助しています。食事が終わった子どもから、保育士が歯磨きをしていました。

## 【1歳児】

今日はこれから外へ行きます。たれ付きの帽子をかぶります。帽子には子どもの好きなワッペンなどが付いており、自分の帽子がわかるようになっています。子どもたちは保育士から帽子を受け取って、自分でかぶります。どちらが前か分からなくて、自分ではかぶれない子どももいて、保育士が手伝っています。外は寒いのでコートを着ます。自分で袖を通せる子どももいます。人数が多くて待ち時間があるため、用意ができて待っている子どもが飽きないように、保育士が指人形を出して、「これからどこへ行くの」などと話しかけていました。

外遊びから帰ってきました。保育士が絵本の読み聞かせを始めました。その間に順番にトイレに行きます。2、3人の子どもがその横でブロック遊びをしています。ほとんどの子どもたちが保育士の前に集まって絵本に見入っています。「ながーい卵、バリバリバリ」と保育士が読むと、子どもたちが「へび」と答えます。みんな絵本に興味津々です。

食事の時間です。5、6人の子どもたちがテーブルを囲んでひじ掛け付きの椅子に座ります。一つ一つのテーブルに保育士が付きまします。保育士は野菜や肉を食べやすい大きさに小さく切っています。スプーンで自分で食べる子ども、保育士にすくってもらって食べる子ども、カップを持ってスープを飲む子どもなどさまざまです。保育士は「おいしそうね」「上手、上手」など子どもたちが食べたくなるような声掛けをしていました。一人の子どもが少し眠たくなってぐずりだしました。保育士が抱っこをして話しかけると、気分が良くなったのか元気になって、またご飯を食べ始めました。

## 【2歳児】

今日は園庭で遊びます。子どもたちはフラフープを両手で持って立ちます。保育士が持っていたフラフープを転がすと、一人の子どもが追いかけて手をつかみました。「おじょうず！」と、保育士に声をかけられて嬉しそうです。保育士と二人で輪の中に入って、電車ごっこをしている子どももいます。ほかの子どもが持って行ったフラフープを追いかけて、走り出す子どももいます。ある子どもは、「見てて」と保育士に声をかけ、フラフープを回そうと体を揺らしています。時間になり、「そろそろ行きますよ。みんな、上着を着てね」と、保育士が子どもたちに声を掛けまします。子どもたちは上着を着せてもらって、園庭のわきの階段を上って、保育室に戻ります。子どもたちは、「ごはん？」と聞きながら、保育士の腕にぶら下がったり、抱きついたりしています。隣のランチルームでは、保育士がお昼ご飯の準備をしています。主菜、副菜の後ごはん、お茶が配られ、すぐにお茶を口にして飲み始める子どももいます。「ごはんありますか？」「は～い！」子どもたちが一斉に答えます。「松風焼、ありますか？」「は～い！」そして、「いただきます」の挨拶の後、子どもたちは手にスプーンを握りしめ、楽しそうに食事を始めました。ごはん茶碗にスプーンを入れると、ご飯を一口。今度は大根をすくって、一口。「うわあ」「ばぶう」と、一生懸命にご飯を口に運んでいます。「大根、お変わりあるよ」と保育士が声をかけると、「大根？」と、オウム返しに聞く子どももいます。保育士にごはん茶碗を渡して、残ったご飯を集めてもらい、スプーンですくって、口に入れます。隣の子どもはお代わりを盛り付けてもらって大喜びでした。

### 【3歳児】

今日は「お店屋さんごっこ」の日です。4歳児クラスの「さくらスーパー」の開店の時間です。「やおや」「おはな」「おもちゃ」「すうい一つ」「おしゃれ」「おべんとう」のコーナーがあり、子どもたちは紙袋とお手製の財布、お金を持って買い物を行います。「やおや」をのぞいてみると、折り紙で作られたみかんが人気を博していました。ある子どもは紙製のお金をしっかり握りしめて、色紙で作られたさつま芋を買い、50円を支払っています。「すうい一つ」のコーナーでは、500円のぺろぺろキャンディをかって、お釣りをもらっている子どもがいます。「おべんとう」も大人気です。お弁当を手に入れ、袋の中に納めます。箱をつついて、中身を確認しています。発泡スチロールの箱に入れられた、色紙で作られた太巻きや卵焼きなどを楽しそうに眺めています。「見て～、おさかな！」と声を上げながら、さんまを形どった色紙を買い物袋に入れます。「カスタネット！」ペットボトルのキャップと牛乳パックで作られたカスタネットを手に、音を出しています。今日は近隣の子どもたちも参加しています。お母さんに付き添ってもらって、たこ焼きを買っています。お金を取り出し、たこ焼きを受け取り、お釣りを手渡されると、大事そうに財布に戻します。隣の部屋はゲームコーナーになっていて、手作りの「ばいきんたたき」が2台設置されています。バイキンマンをはり付けたペットボトルが、下から飛び出たり、引っ込んだりして、それを柔らかいプラスチックハンマーで叩きます。「うまい、うまい！」と、保育士に褒められると、子どもたちは歓声を上げていました。

### 【4歳児】

今日は子どもたちが楽しみにしていた「お店屋さんごっこ」の日で、クラスの入り口には「さくらスーパー」の看板が掲げられています。お客さんの3歳児が買い物用の手提げ袋を片手に行列をなしています。三角巾とエプロン姿の4歳児が全員で「いらっしやいませー！」と元気な声を上げて開店です。「おはな」「おもちゃ」「すうい一つ」「おしゃれ」「やおや」など、お店の種類は豊富です。それぞれの店先には趣向を凝らした子どもたちの手作りの品物「おはなのぼうし」「くるくるろーるけーき」「ぼうえんきょう」「のりまきべんとう」「ばなな」「ねぎ」「ねっくれす」などが並び、どれも力作です。「いらっしやいませ」「おもちゃもありますよー」「おやさい、いかがですか？」「りんごください」など、保育室内は子どもたちの元気な声が飛び交っています。5歳児が作ってくれた紙のお金と財布を使ってのやりとりをみんな楽しんでいました。「春からどんなものを売りたいか作りたいか、みんなでイメージして意見を出し合って、夏ごろから色紙やカラーセロファン、絵の具で色塗りなど、製作の過程も楽しみながら、みんなでコツコツ作りためてきたんですよ」と、保育士が笑顔で教えてくれました。

給食前、保育士の「お店屋さんごっこ、何が楽しかった？」との問いに、「買うのー」「お釣りを渡すのー」「ぜんぶー！」と子どもたち。調査員が作るのが難しかった品物を聞くと、「からあげ」「たこやきも～」「ふわっとさせるのが難しかったの」と教えてくれました。

### 【5歳児】

「お店屋さんごっこ」では、5歳児はゲームコーナーとレストランの担当です。保育室を2つに仕切り、片側は「ばいきんたたき」のゲームコーナーになっています。「ばいきんたたき」は、モグラたたきのイメージで、段ボールとペットボトルを使って手作りされています。ペットボトルにバイキンマンがはり付けてあり、子どもが穴から出し入れしています。穴から出たところを柔らかいプラスチックハンマーで叩きます。「いらっしやいませ」「こちら空いてますー」と元気な声。小さな子どもには、やり方を実演して見せてあげます。廊下奥では「ボール転がしゲーム」コーナーがあります。段ボールで幅広の傾斜のある台を作り、途中途中に細い棒が立ててあり、上からボールを転がしていくと、下部の枠に入るしくみです。枠には子どもたちの大好きなキャラクターがはってあります。「いらっしやい」「こちらへどうぞ～」小さな子どもを案内して、優しくやり方を教えてあげます。「みんなで小さな子ができるゲームってどんなのがあるかな？ ボールを使うのがいいんじゃない？ ボウリング、ボール投げ？ などと話し合いながら決めました。小さな子ってアンパンマンが好きだよ？ と意見が出て、みんなでアンパンマンの絵を描いてゲームの周りにはったんですよ」と、保育士が話してくれました。保育室奥はレストランです。三角巾とエプロン姿の子どもたちが、「いらっしやいませ」「お好きな席へどうぞ」と笑顔でお客さんを席に案内し、「大変お待たせしました」と動物型ビスケットを入れたアルミカップと麦茶を配膳していました。店番が終わった子どもたちは、手さげ袋と紙のお金を手に、4歳児クラスのお店屋さんへ楽しそうに急いでいました。

## 利用者家族アンケート

## 結果の特徴

(実施期間：平成 29年 9月 4日 ~ 平成 29年 9月 18日)

送付方法・・・園を通して保護者へ配付

回収方法・・・評価機関宛に保護者より直接郵送

送付対象世帯数： 175 回収数： 84 回収率： 48.0%

保育園に対する総合的な感想は、「大変満足」が50人(59.5%)、「満足」が33人(39.3%)で「満足」以上の回答は合計83人(98.8%)でした。

自由意見には、「大らかでのびのびした雰囲気。共働きを理解・サポートしてくれていると感じる」「すてきな先生がたくさんいること！イベント、外遊び、異年齢交流、子どもにとって、ちょうどいいバランスのとれた活動だと感じています」「園児も多いが、スタッフも多いため、いろんな先生とかかわる事ができて、子どもにとってもよいと思う」「子どもへの配慮がすごくある」「先生方が親身になって接して下さるので、安心してお任せしています」など感謝の声が多く見られています。

項目別に見ますと、とても満足度が高い項目として、「問4生活② お子さんが給食を楽しんでいるかについては」で98.8%、「問4生活① 給食の献立内容については」「問7① あなたのお子さんが大切にされているかについては」で、それぞれ97.6%の保護者が「満足」「どちらかといえば満足」と回答しています。「問2③ 園の目標や方針についての説明には」は、ほかの項目に比較すると満足度が低い項目です。

## 結果の詳細

## ■園の基本理念や基本方針について

| 施設の基本理念や基本方針の認知 | よく知っている | まあ知っている | どちらともいえない | あまり知らない | まったく知らない | 無回答  |
|-----------------|---------|---------|-----------|---------|----------|------|
|                 | 7.1%    | 56.0%   | 17.9%     | 16.7%   | 2.4%     | 0.0% |

問1で「よく知っている」、「まあ知っている」と回答した方のうち

## 付問1

| 保育目標や保育方針への賛同 | 賛同できる | まあ賛同できる | どちらともいえない | あまり賛同できない | 賛同できない | 無回答  |
|---------------|-------|---------|-----------|-----------|--------|------|
|               | 45.3% | 52.8%   | 1.9%      | 0.0%      | 0.0%   | 0.0% |

## ■施設のサービス内容について

## 問2 入園した時の状況

|  | 満足  | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満   | その他  | 無回答  |
|--|---|------------|------------|------|------|------|
| ①見学の受け入れについては                          | 58.3%   | 28.6%      | 2.4%       | 0.0% | 9.5% | 1.2% |
|  | その他： 「見学に行っていない」などのコメントがありました。                        |            |            |      |      |      |
| ②入園前の見学や説明など、園からの情報提供については             | 48.8%   | 35.7%      | 7.1%       | 3.6% | 3.6% | 1.2% |
|  | その他： 「見学をしなかった」などのコメントがありました。                         |            |            |      |      |      |
| ③園の目標や方針についての説明には                      | 39.3%   | 52.4%      | 4.8%       | 0.0% | 2.4% | 1.2% |
|  | その他： 「賛同できる内容ではあったが、入園前に特に説明はなかったと思います」などのコメントがありました。 |            |            |      |      |      |
| ④入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応については     | 47.6%   | 45.2%      | 1.2%       | 0.0% | 4.8% | 1.2% |
|  | その他： 「面接はないので不明」などのコメントがありました。                        |            |            |      |      |      |
| ⑤保育園での1日の過ごし方についての説明には                 | 35.7%   | 54.8%      | 3.6%       | 2.4% | 2.4% | 1.2% |
|  | その他： 「行けなかった」というコメントがありました。                           |            |            |      |      |      |
| ⑥費用やきまりに関する説明については(入園後に食い違いがなかったかを含めて) | 39.3%   | 39.3%      | 14.3%      | 4.8% | 1.2% | 1.2% |
|  | その他： 「行けなかった」というコメントがありました。                           |            |            |      |      |      |

### 問3 保育園に関する年間の計画について

|                                 | 満足                                     | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満   | その他  | 無回答  |
|---------------------------------|--|------------|------------|------|------|------|
| ①年間の保育や行事についての説明には              | 38.1%                                  | 52.4%      | 6.0%       | 2.4% | 1.2% | 0.0% |
|                                 | その他: コメントはありませんでした。                    |            |            |      |      |      |
| ②年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては | 20.2%                                  | 54.8%      | 14.3%      | 7.1% | 3.6% | 0.0% |
|                                 | その他: 「保護者の要望がどんなものか知らない」などのコメントがありました。 |            |            |      |      |      |

### 問4 保育園に関する年間の計画について

| 遊びについて  | 満足                                     | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満   | その他  | 無回答  |
|---|--|------------|------------|------|------|------|
| ①クラスの活動や遊びについては(お父さんが満足しているかなど)                   | 61.9%                                  | 31.0%      | 6.0%       | 0.0% | 0.0% | 1.2% |
|   | その他:                                   |            |            |      |      |      |
| ②子どもが戸外遊びを十分しているかについては                            | 66.7%                                  | 27.4%      | 3.6%       | 1.2% | 0.0% | 1.2% |
|   | その他:                                   |            |            |      |      |      |
| ③園のおもちゃや教材については(お父さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど) | 52.4%                                  | 39.3%      | 2.4%       | 2.4% | 2.4% | 1.2% |
|   | その他: 「年齢にふさわしいかは不明」などのコメントがありました。      |            |            |      |      |      |
| ④自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については                       | 57.1%                                  | 35.7%      | 4.8%       | 1.2% | 0.0% | 1.2% |
|   | その他:                                   |            |            |      |      |      |
| ⑤遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もっているかについては                 | 52.4%                                  | 36.9%      | 8.3%       | 0.0% | 1.2% | 1.2% |
|   | その他: 「友だちと遊ぶほどまだ大きくないので」というコメントがありました。 |            |            |      |      |      |
| ⑥遊びを通じたお父さんの健康づくりへの取り組みについては                      | 51.2%                                  | 42.9%      | 2.4%       | 0.0% | 2.4% | 1.2% |
|   | その他: 「具体的に説明なし」などのコメントがありました。          |            |            |      |      |      |

| 生活について                                     | 満足   | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満   | その他   | 無回答  |
|--|--|------------|------------|------|-------|------|
| ①給食の献立内容については                              | 77.4%  | 20.2%      | 1.2%       | 0.0% | 0.0%  | 1.2% |
|  | その他:   |            |            |      |       |      |
| ②お父さんが給食を楽しんでいるかについては                      | 75.0%  | 23.8%      | 0.0%       | 0.0% | 0.0%  | 1.2% |
|  | その他:   |            |            |      |       |      |
| ③基本的な生活習慣(衣服の着脱、手洗いなど)の自立に向けての取り組みについては    | 65.5%  | 31.0%      | 1.2%       | 0.0% | 1.2%  | 1.2% |
|  | その他: 「まだ小さいのでよくわかりません」というコメントがありました。                       |            |            |      |       |      |
| ④昼寝や休憩がお父さんの状況に応じて対応されているかなどについては          | 57.1%  | 35.7%      | 4.8%       | 1.2% | 0.0%  | 1.2% |
|  | その他:   |            |            |      |       |      |
| ⑤おむつはずしは、家庭と協力し、お父さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては | 47.6%  | 32.1%      | 4.8%       | 1.2% | 10.7% | 3.6% |
|  | その他: 「まだその段階までいっていない」などのコメントがありました。                        |            |            |      |       |      |
| ⑥お父さんの体調への気配りについては                         | 52.4%  | 40.5%      | 4.8%       | 0.0% | 0.0%  | 2.4% |
|  | その他:   |            |            |      |       |      |
| ⑦保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には             | 48.8%  | 39.3%      | 6.0%       | 2.4% | 1.2%  | 2.4% |
|  | その他: 「生活上起こりうるけがであってもクレームを意識するのか、謝罪が必要以上にある」というコメントがありました。 |            |            |      |       |      |

### 問5 保育園の快適さや安全対策について

|                                | 満足                                      | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満   | その他  | 無回答  |
|--------------------------------|---|------------|------------|------|------|------|
| ①施設設備については                     | 54.8%                                   | 41.7%      | 2.4%       | 0.0% | 0.0% | 1.2% |
|                                | その他:                                    |            |            |      |      |      |
| ②お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているかについては | 54.8%                                   | 40.5%      | 2.4%       | 0.0% | 1.2% | 1.2% |
|                                | その他: 「装飾が多すぎると感じることもある」というコメントがありました。   |            |            |      |      |      |
| ③外部からの不審者侵入を防ぐ対策については          | 34.5%                                   | 47.6%      | 13.1%      | 1.2% | 2.4% | 1.2% |
|                                | その他: 「入退園ピーク時間は門で見守りがほしい」などのコメントがありました。 |            |            |      |      |      |
| ④感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については     | 40.5%                                   | 45.2%      | 11.9%      | 1.2% | 0.0% | 1.2% |
|                                | その他:                                    |            |            |      |      |      |

### 問6 園と保護者との連携・交流について

|   | 満足   | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満   | その他  | 無回答  |
|---|--|------------|------------|------|------|------|
| ①保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については                 | 34.5%  | 53.6%      | 9.5%       | 0.0% | 1.2% | 1.2% |
|   | その他: 「未経験」というコメントがありました。   |            |            |      |      |      |
| ②園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供については            | 50.0%  | 45.2%      | 3.6%       | 0.0% | 1.2% | 0.0% |
|   | その他: 「行事の様子は写真などで掲示してほしいと思う」というコメントがありました。                             |            |            |      |      |      |
| ③園の行事の開催日や時間帯への配慮については                        | 41.7%  | 46.4%      | 9.5%       | 1.2% | 0.0% | 1.2% |
|   | その他:   |            |            |      |      |      |
| ④送り迎えの際、お子さんの様子に関する情報交換については                  | 36.9%  | 47.6%      | 9.5%       | 4.8% | 1.2% | 0.0% |
|   | その他: 「以前は帰る際に必ず一日の様子を話したが、最近は担任保育士がほかに対応中などで挨拶もしないことがある」というコメントがありました。 |            |            |      |      |      |
| ⑤お子さんに関する重要な情報の連絡体制については                      | 47.6%  | 39.3%      | 8.3%       | 3.6% | 1.2% | 0.0% |
|   | その他: 「重要な情報の連絡を行ったことがないので、どのような体制か不明」というコメントがありました。                    |            |            |      |      |      |
| ⑥保護者からの相談事への対応には                              | 45.2%  | 50.0%      | 4.8%       | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
|   | その他:   |            |            |      |      |      |
| ⑦開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応については | 42.9%  | 41.7%      | 8.3%       | 1.2% | 2.4% | 3.6% |
|   | その他: 「まだ迎えが遅くなったことがないため、わからない」というコメントがありました。                           |            |            |      |      |      |

問7 職員の対応について

|                                  | 満足                                | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満   | その他   | 無回答  |
|----------------------------------|-----------------------------------|------------|------------|------|-------|------|
| ①あなたのお子さんが大切にされているかについては         | 59.5%                             | 38.1%      | 2.4%       | 0.0% | 0.0%  | 0.0% |
|                                  | その他:                              |            |            |      |       |      |
| ②あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについては     | 59.5%                             | 36.9%      | 1.2%       | 0.0% | 1.2%  | 1.2% |
|                                  | その他: 「とにかく保育園がきれい」というコメントがありました。  |            |            |      |       |      |
| ③アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については | 48.8%                             | 29.8%      | 1.2%       | 1.2% | 15.5% | 3.6% |
|                                  | その他: 「あまりよく知らない」などのコメントがありました。    |            |            |      |       |      |
| ④話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては         | 53.6%                             | 39.3%      | 4.8%       | 1.2% | 1.2%  | 0.0% |
|                                  | その他: 「先生によります」というコメントがありました。      |            |            |      |       |      |
| ⑤意見や要望への対応については                  | 39.3%                             | 42.9%      | 10.7%      | 2.4% | 3.6%  | 1.2% |
|                                  | その他: 「意見に左右されすぎている」などのコメントがありました。 |            |            |      |       |      |

問8 保育園の総合的評価

|        | 満足    | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満   | 無回答  |
|--------|-------|------------|------------|------|------|
| 総合満足度は | 59.5% | 39.3%      | 1.2%       | 0.0% | 0.0% |



## 事業者からの意見

来年度の保育所保育指針改定施行を前に、自分達の保育の見直しの他、自信を持って進めていける所等の再確認をし、今後に繋げていきたいと考え受審をしました。

園としては3度目の受審となりますが、今回初めて第三者評価を経験する職員もあり、無理せず“普段の保育を評価していただく”ということを中心に、まず各自で評価項目のチェックをした後、保育主任・主任・施設長が見直しをしてまとめました。

ここ数年、保育を進めていく中で職員同士共通理解が十分にできていなかったり、互いに「わかっているはず」という思いにより、結果食い違いや漏れが生じてしまったりといった姿がありました。様々な職種の職員が思いを出し合い、繰り返し意見交換をしたことで基本に戻れた他、職員同士の理解や認め合い、信頼関係など今まで以上に強いものとなりました。このことは、職員数の多い当園にとって今後大きな力になりうるものと考えます。

今回評価の中で認めていただいた点は自信を持って今後も取り組み、展開していきたいと思えます。

又、課題としてあげていただいた点は全職員で具体的な改善に向けて取り組み、今後も学び続ける園でありたいと考えます。

最後に、保護者の皆さまにはお忙しい中アンケートにご協力いただきましたこと、そして、評価者の方々には多くのご指導をいただきましたこと、感謝申し上げます。